

## 第1学年 生活科実践事例モデル(在籍学級)

### (1) 単元(または題材)名

「チャレンジ!ザ、おしごと」

### (2) 対象児童の状況

対象児童	母語 (出身国)	日本語習得状況	生活科に関する力
A	スペイン語 (ペルー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本生まれ、A保育園に1年間、その後転園してB保育園に4年間通園後に入学。</li> <li>・日常会話に大きな支障はない。知らない日本語もあり、「これ。」「こんなやつ。」という言い方で話す。</li> <li>・学習言語を正確に把握することは難しい。</li> <li>・両親ともに日本語がほとんど理解できない。家庭では、スペイン語を使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母語での学習歴はない。</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字の学習の定着に時間がかかる。週に3～4時間取り出しで授業を受け、ひらがなはほぼ読み書きができるようになった。</li> <li>・学校では日本語、家庭ではスペイン語を使用するため、思考言語はどちらもあり、どちらも正確に理解し、使用することは難しい。</li> </ul>

### (3) 単元(又は題材)の指導方針

本単元では、家の仕事にはどのようなものがあるのか、その仕事をしているのは主に誰かを調べることを通して、普段当たり前のように過ごしている家庭生活や家族への関心を高め、自分たちにもできることを考えさせたい。

「掃除」「洗濯」「料理」といった様々な家事を表す言葉が出てくるが、どういった仕事かをイラストなどで視覚支援を行い理解させたい。また、それらは「家事=家の仕事」でまとめられる。言葉の上位概念も理解させたい。

### (4) 単元(又は題材)の目標

#### ①教科の目標

- ・自分の生活を見つめ、家族のために自分にもできることを見つけ進んで取り組もうとする。
- ・仕事をしながら思ったこと、感じたこと、気づいたことなどを、自分なりの表現方法で振り返ったり、友だちと交流したりすることができる。
- ・家族それぞれが果たしている仕事や役割があり、家族の大切さや温かさに気づく。

#### ②日本語の目標

- ・「掃除」「洗濯」「料理」「茶碗洗い」「ゴミ出し」「子守り」などの言葉の意味を理解し、それらは「家の仕事」というカテゴリーでまとめられることを理解する。
- ・「私のした仕事は～です。やってみて思ったことは……。」「私は……のお手伝いにチャレンジしました。どうしてこの仕事にしたかという……。やってみて思ったことは……。」の表現を使うことができる。

## (5) 単元の指導 (全3時)

次	学習活動	教師の働きかけ (発問○) 日本語表現の支援 (●)	指導上の工夫・留意点 (板書・ワークシート等)
1	<p><b>本時 (次) の目標</b></p> <p>①教科の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家にはたくさんの仕事があり、家族の人にたくさんの仕事をしてもらっていることに気づく。</li> <li>・自分の仕事の経験を友だちに伝え、友だちの発表に関心をもって聞こうとしている。</li> </ul> <p>②日本語の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「掃除」「洗濯」「料理」「茶碗洗い」「ゴミ出し」「子守り」などの言葉の意味を理解し、それらは「家の仕事」というカテゴリーでまとめられることを理解する。</li> <li>・「私は～のお手伝いをしたことがあります。やってみて思ったことは・・・。」の表現を使うことができる。</li> </ul> <p>・全体で話し合う。(5分)</p> <p>掃除 洗濯 洗濯物たたみ 妹のお守り 買い物 新聞とり 等</p> <p>・ワークシートに書く。(8分)</p> <p>・発表する。(22分)</p> <p>「私は、洗濯物たたみをしました。やってみて思ったことは、袖のところがきれいにたたむのが難しかったです。」</p>	<p>課題:家の仕事について考えよう</p> <p>○家の仕事でどんな手伝いをしたことがありますか。</p> <p>ここにあるように、お家ではたくさんの仕事があるんだね。それらをまとめると「家の仕事=家事」と言うことがあります。</p> <p>○自分がしたお手伝いをみんなに伝えましょう。ワークシートに伝えることを書きましょう。</p> <p>「私は～のお手伝いをしたことがあります。やってみて思ったことは・・・。」</p> <p>どこが難しかったのかまで詳しく発表できてよく分かりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手伝いとは、仕事を手伝うことであり、自分のことをするのは違うことを例をあげておさえる。 (理解支援)</li> <li>×自分で着替える</li> <li>○お母さんに頼まれて新聞を取りにいった。</li> <li>・「こんなこともできるんだ、すごいね」とほめる。 (情意支援)</li> <li>・ワークシートに書いて発表させる。発表と同じ形式のワークシートにする。 (表現支援)</li> <li>・仕事の様子がよく分かる子、のびのびと発表できた子、詳しく発表できた子などをほめる。 (情意支援・表現支援)</li> </ul>

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で話し合う。(5分) 庭の草取り 茶碗洗い 料理</li> <li>次にやってみたい仕事を考える。(5分) 米とぎがしてみたいな。 お料理にチャレンジしたい。</li> </ul>	<p>○お家の人、他にはどんな家の仕事をしていますか。</p> <p>誰がやってくれるの。 ～ちゃんたちのためにしてくれるんだね。 お家の人、大変だね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>まとめ</b> いえのしごと=家事(かじ) たくさんある。 かぞくできょうりょくしている。 ↓ みんながきもちよくせいかつできる</p> </div> <p>○今日お友だちの発表を聞いて真似したくなったり、やってみたいと思ったりした家の仕事は何ですか。 次までにチャレンジしてみましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その他の仕事に目を向け家にはまだまだ多くの仕事があり、家族の人にしてもらっていることを理解させる。</li> <li>家庭の状況には配慮する。</li> <li>チャレンジさせてもらえるよう家庭にも協力をお願いします。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の復習</li> <li>チャレンジしたことをワークシートに書く。(10分)</li> <li>チャレンジしたことを発表する。(30分)</li> <li>まとめ(5分)</li> </ul>	<p>○家には、たくさん仕事があったね。どんな仕事がありましたか。</p> <p>「私は・・・のお手伝いにチャレンジしました。どうしてこの仕事にしたかという・・・。やってみて思ったことは・・・。」</p>	

**(6) 板書及びワークシート・配付資料**

チャレンジ! ザ おしごと

課題: いえのしごとについてかんがえよう。

おてつだい

- ・しんぶんとり
- ・そうじ
- ・ふろあらい
- ・花の水やり
- ・くつならべ
- ・いもうとのこもり

ほかにもあるしごと

- ・りょうり
- ・にわそうじ
- ・かいもの
- ・ごみほり
- ・せんたく
- ・犬のさんぽ

まとめ

いえのしごと=家事 (かじ)

たくさんある。

かぞくできょうりよくしている。

↓

みんながきもちよくせいかつできる

チャレンジしたいしごと

- ・うわぐつあらい
- ・せんたくものたたみ

① 家事について考えることで、自分だけでなく、家族の仕事について考えられた。

② 友達の発言から、それぞれの家庭の様子を交流することができた。

③ 「自分でできることはやってみよう」という気持ちが生まれた。

④ 「みんなでうわぐつあらいをしよう」という意見が出た。

④ 保護者の参観の中、「うわぐつあらい」にチャレンジした。

⑤ 右の写真は、タライを使ってうわぐつを洗う子どもたち。

⑥ 「タライ」「タワシ」「せんめんき」という言葉と実物を確認した。

**(7) 単元を通じての成果と課題**

「わかりにくい日本語を意識して支援する」

<成果>

- ・あまり使われなくなった日本の道具や言葉が理解できた。

「タライ」「タワシ」「せんめんき」

- ・各家庭の生活様子が交流でき、食事の様子や料理などの発表で、外国籍児童の活躍の場となった。

- ・自分でできることは自分でやってみようという意欲が生まれた。

<課題>

- ・方言 (ほる→すてる) が飛び出し、理解しにくい場面があった。

「わかりにくい言葉は、視覚的にとらえさせる」

<成果>

- ・絵カードを使って様々なお手伝い (家事) を確かめ理解が深まった。

- ・絵カードで手伝いの意欲が高まり、「みんなのうわぐつ洗い」につながった。

<課題>

- ・視覚支援は極めて効果的だが、周到な教材準備を要する。



意欲的につづった体育の授業の感想 (A)